

---

○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◇ 佐藤作行君

○議長（稲葉昭宏君） 一般質問を続けます。

通告順位3番、佐藤作行君。

（3番 佐藤作行君 登壇）

○3番（佐藤作行君） 通告に従いまして、壇上より一般質問を行います。

今日は松崎町の日本一の産物である桜葉の振興策について行います。もう一つ、それに関連してですが、ミラノ万博日本館イベントについて町長にお伺いいたします。

町報の7月号において、町長の桜葉に対する熱い想いを語っておりますが、生産者はこの町長の想いに高い期待を寄せています。

そこで、クエッション1ですが、町内の生産者をはじめ関連産業に従事する者を中心に伊豆松崎町桜葉振興会の設立準備が進んでいますが、町長の考え、感想を伺います。

2番目として、振興策として生産者部門において高品質化と生産拡大を図る計画を進めていますが、具体的に優良な大島桜の苗木の生産を計画しています。それについての町長の感想をお願いいたします。

3番目として、販売拡大策としての桜葉の消費拡大またPR等についてのことも計画していますが、その感想をお伺いいたします。

2番目として、ミラノ万博日本館イベントについてお伺いいたします。先日静岡新聞にも載っていましたが、ミラノ万博日本館のイベントに静岡県が立候補して、エントリーしたということが載っていましたが、これは2015年5月から10月までのあいだにイタリアのミラノで開催される万博でありますが、本県が参加を正式発表しましたが、メインテーマが「食」ということですが、①町としての参加の意思があるかどうか。

②桜の葉っぱを世界へと売り出すチャンスだと思うが、どう思っているのか。

③これをうまく軌道に乗せれば日本一から世界一への大きなステップ台と考えていますが、そこらはどういうふうに思っているのか。

以上でございます。よろしく申し上げます。

(町長 齋藤文彦君 登壇)

○町長(齋藤文彦君) 佐藤作行議員の一般質問にお答えします。

1. 桜葉振興策について。①「町内の生産者をはじめ関連産業に従事するものを中心に、伊豆松崎・桜葉振興会(案)の設立準備が進んでいるが、町長の考えは。感想は」についてです。

佐藤議員の計らいにより、桜葉の生産者組織が立ち上がろうとしていることは承知しているところで、その御尽力に敬意を表するものであります。農業振興につきましては、これまでも申し上げておりますが、市場を意識し、消費者の需要に応じて農林水産物を生産・供給する発想が不可欠であり、経営感覚を持ち、自らの判断で消費者や需要者のニーズ変化等に対応する「チャレンジする農業経営者」が活躍できるように、県や関係機関と連携し環境整備を図っていく所存であります。

そして、桜葉生産者に対しても同様であり、生産者個々の経営努力を期待するものですが、まずは、日本一の生産を支えている生産者の皆さんが一致団結し、課題を共有し、組織立って経営向上を図っていくことが重要であり、生産者組織設立の動きは喜ばしく大きな期待を寄せているところでございます。

②「振興策として生産者において高品質化と生産拡大を計る。具体的には、優良な大島桜苗木の生産についての考えは。感想は」についてです。

桜葉生産振興策として高品質、生産拡大のため、生産者の皆さんが組織立って、初めに優良苗木の自主生産を目指していくというお考えがあるということですので、町の役割としましては、県賀茂農林事務所等とも協力しながら、苗木生産活動や今後検討される桜葉振興が円滑に進められるよう、行政として支援していく考えです。

③「販売拡大策としての桜葉消費拡大PRについての考えは。感想は」についてであります。

生産者の皆さんが団結し、桜葉振興の一環として消費の拡大を図っていくためには、PR活動は重要ですので、皆さん方と知恵を出し合い、関係機関の協力も仰ぎながら、苗木生産と同様に、PR活動も含めた桜葉振興の支援をしていきたいと考えています。

2. ミラノ万博日本館イベントについて。①「町としての参加の意思はどうか」②「桜葉を世界へ売り出すチャンスと思うがどうか」についてです。

食をテーマとするミラノ万博参加については、今のところ、静岡県が山梨県と共同で来年8月のひと月間、仮称ですが「富士山と多彩な食材、静岡山梨ウイーク」のイベント名で参

加することになっています。現段階では具体的な内容は決まってないようですが、ミラノ万博に参加することは桜葉振興のチャンスととらえておりますので、前向きに検討していきたいと思えます

③「日本一から世界一へのステップ台と考えられないか」についてです。

松崎の桜葉は品質、香り、生産量ともすでに日本一ですので、仮にミラノ万博に参加するとしても、日本以外で松崎の桜葉を超える品質の葉を生産している国はないと私は自負していますので、日本一イコール世界一と大いに自慢してもよろしいのではないかと考えています。

以上です。

○3番（佐藤作行君） 一問一答でお願いします。

○議長（稲葉昭宏君） 許可します。

○3番（佐藤作行君） はじめからやっていきたいと思えます。

この生産者組織については、現在進行中のわけなんです、町長から前向きな形で支援していくというようなお答えをいま伺ったわけなんです、具体的に支援金みたいなことも視野に入れてよろしいですか。町長からお願いします。

○町長（齋藤文彦君） 振興会設立の目的や方針、活動、支援要請の規模等がどんなものかよくわからないわけですが、町のスタンスとしては皆さん方がやっていただいて、それを町が支援するというような形ができればいいなと思えているところです。

○3番（佐藤作行君） そこらがまだINGの形ですので、完全になったところでまた町長の方に要望書なりなんなりを出すことになると思えますが、そこらの・・現在高品質化について伊豆半島においてはソメイヨシノが植えられていることもあって、なかなか大島桜の純粋種の種が採れないというような現実があるわけなんです。大島町に依頼して集めてもらっているわけなんです、そういう大変お金の面でかかるということもありまして、ぜひともそこらも考慮していただきたいと願っているところです。

そこらをちょっと一言お願いします。

○町長（齋藤文彦君） 大島桜うんぬんの話があるわけですが、町が試験栽培の技術とか、施設とか、研究員を確保していないので、農林試験場に委託せざるを得ないわけですが、そのようなことをお願いするわけですが、どうしてもやっぱり町としては、応援指導の立場ということで、自分たちが主体になってやっていただくというような形で、松崎が本当に支援しやすいような形で進んでいければいいなと思えているところです。

○3番（佐藤作行君） だいたいわかりました。

それから、3番目の販売拡大それからキャンペーン等の実施にあたって、いろいろ考えているわけなんです、会員のなかでいろんなアイデアなんかも出てきまして、一例を申し上げますと、桜葉を販売している多くはかなり老舗の和菓子屋さんが多いということで、そこを中心にポスターを貼ってもらうとか、さくら餅のキャンペーンを展開していくとかという具体的なアイデアなんかも出ているわけなんです、これがやっぱり発展的に考えてみますと、これは伊豆松崎町桜葉振興会という名前にしたのもやっぱり観光面で伊豆松崎町のPRにも繋がっていくんじゃないかというような思惑もあるわけですが、そこらの町長の見解はどうでしょうか。

○町長（齋藤文彦君） さきほど申しましたとおり、桜葉の振興会がちゃんとした形ができてきて、皆さんがやっていくという形が見えてくれば、いろいろな宣伝方法がいっぱいあると思います。私もトップセールスなんかでいろいろなところに行くわけですけども、そのときは桜葉のことをちゃんと話すような気持ちでいます。ただ、さくら餅とお茶というのは、静岡県では切っても切れないものですから、桜葉の生産地、お茶の生産地を、よく佐藤議員がいうところの協力して町と市でお互いに共生しながら、宣伝するような方法もあると思いますので、そのような体制がちゃんとできてくれば、それなりの宣伝はできると思います。

○3番（佐藤作行君） だいたいこの振興策についてはINGということもありまして、ちゃんとした形がおいおいできてくると思いますので、その時点でまたお願いにあがるような形になると思います。

次に、ミラノ万博のイベントについてなんです、これは県の方にはどの程度打ち合わせとか、要望とかなんとかというものは町ではしているのかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○町長（齋藤文彦君） 現段階では、県の方も具体的な内容が決まっていないということで、内々的にはこんなものじゃないかというような情報はありますけれども、まだそこまで話していません。

○3番（佐藤作行君） 具体的な話がないということなんです、これは、どういう形で・・・、前向きに検討ということなんです、町としては、参加希望を県の方に出すとか、あるいはこういう計画で参加したいというような意思表示というものはやる考えはあるかどうか、ちょっとお伺いします。

○町長（齋藤文彦君） さきほど檀上で前向きに検討していきたいと答えましたけれども、前向きにやっていきたいと思っています。皆さんもご存じのとおり、西伊豆町がスローフード協会の味の箱舟ということで、潮かつおが世界的に有名になったわけですけれども、松崎町の桜葉も日本一、日本一といいながら、世界に出ていって、世界一だと胸をはれるようになればいいなと思っていますところでは。

○産業建設課長（斉藤昌幸君） 現在の段階では、さきほども町長が申しあげましたとおり、県から具体的な詳細なミラノ万博参加の要項とか要領がきていないわけでございます。いずれにしても、その辺の具体的な内容を把握したうえで、町として、町長も言われましたとおり積極的かつ内容を精査したうえで、担当としては判断していきたいという現段階での考えでございます。

○3番（佐藤作行君） だいたい聞きたいことは聞いたんですが、関連いたしまして、ここらをどうかというようなことを一つ二つ質問したいと思います。

実は、松崎町に入ってきますと、外部の方から「ヴィレッジ・オブ・ジャパン」の大きい看板が立ったわけなんです、松崎町を走ってきまして、松崎が桜葉の日本一の町だということがわからないというのが普通の人の感覚じゃないかと思うんですね。

西伊豆に行きますと、「鰹の町」なんて大きい看板が出ていますが、そんなポスターとか看板というものは設置するような考え方は、町長、ありますか。

○町長（齋藤文彦君） 松崎の入り口には、いま「日本で最も美しい村」連合の看板があるわけですけれども、看板をいっぱいつけるのもどうかと思うところがあります。ただ、桜葉は長八美術館の手前の駐車場に樽があつて、そこに日本一の生産地というようなことが書いてありますので、そのようなことをうまくやりながら、皆さんにわかるようにしていければいいのかなと思っています。

○3番（佐藤作行君） 最後に、もう1点、町長に、すぐ答えられると思うんですが、いまこの桜葉振興会で準備会なんかを行っているわけなんです、旧岩科小のコミュニティホールを利用したいという要望があるんですが、賃貸しはいまはしていないという教育委員会のお答えなんです、町長として、そういう地域の広域的な会ですので、使用許可をお願いしたいと思うんですが、そこらはどうでしょうか。

○町長（齋藤文彦君） いま直接ここでうんぬんということはできませんので、なかで話して、皆さん方がうまくできるような形ができればいいかなと思っていますので、内部で話を

してみたいと思います。

○3番（佐藤作行君） だいたい聞きたいことは終わります。

それでは、これで終了したいと思います。ありがとうございました。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で佐藤作行君の一般質問を終わります。

暫時休憩します。

（午後 1時20分）

---